

まほろば秦野通信

平成28年5月18日

秦野市市長公室広報課

タイトル	参加者募集 平和の大切さ・戦争の悲惨さを 親子で感じて考える夏休み～親子ひろしま訪問団～
When (いつ)	申込期限 6月9日(木曜日) 訪問期間 8月5日(金曜日)～7日(日曜日) 2泊3日
Where (どこで)	広島平和記念公園ほか平和関連施設
Who (だれが)	市内在住の小学4年生から中学3年生とその保護者 5組10名 応募者多数の場合は抽選となります。
What (なにを) How (どのように) Why (なぜ)	<p>訪問団員として原爆被災地・広島へ行き、8月6日に開催される「広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式」へ参列するとともに、平和記念資料館や原爆ドームなどの見学や語り部(被爆者)からの体験談の聴講などを通じて、戦争の悲惨さやおろかさ、平和や命の大切さへの理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none">● 申込方法 市ホームページ又は市民自治振興課・公民館・図書館・文化会館・こども館にある申込書に必要事項を記入し、市民自治振興課に郵送、FAX又は持参する。● 参加者負担金 小学生2万円、中学生2万5千円、大人3万円
過去の実績	<p>戦後50年を迎えた平成7年にスタートし、今年で22回目。 これまで204人の親子が現地を訪れ、自分の目で被爆地「ヒロシマ」を見聞し、平和や命の大切さを改めて考える機会となっている。 また、毎年、市立幼稚園や市民が平和へ願いを込めて作成した千羽鶴を、団員が平和記念公園内の「原爆の子の像」に捧げることによって、市民の思いを「ヒロシマ」へ伝えている。</p>
今後の 取り組み	<p>訪問団が体験した内容を「訪問の記録」としてまとめ、市内小・中学校や公共施設に配布するとともに、8月15日(月)に市役所において市長への報告会を実施する。 団員の体験を多くの市民に伝え、平和や命の大切を考えるきっかけとしていく。</p>
問い合わせ	市民部市民自治振興課都市交流文化担当 担当：村上 電話0463(82)5118